

インドネシア語科

インドネシア語を勉強してみませんか。インドネシアは日本との関わりが深い国であるにもかかわらず、わたしたち日本人のインドネシアに対する関心はあまり高いとは言えません。インドネシアは赤道にまたがる1万3千もの島々からなる群島国家です。多種多様なエスニックグループを抱え、人口は約2億6千万で世界第4位。「赤道にかかるエメラルドの首飾り」と称されるほど美しい海と緑に恵まれた南の国。イスラム教徒人口は世界第1位。スイーツの材料としてよく使われるココナツの生産量も世界一です。日本人に人気のリゾート地、世界でも有数の観光地「神々の島」バリ島もインドネシアにあります。世界遺産はボロブドゥールをはじめ、文化遺産、自然遺産合わせて8つ。みなさんよくご存知の「デヴィ夫人」はインドネシア初代大統領スカルノに嫁いだ日本人女性です。第2次世界大戦時は約3年間日本統治下にあり、両国にとって悲しい歴史も刻みましたが、今日では多くの日本企業が進出、様々な経済協力を行なっています。どうですか？心惹かれませんか？ちょっとでも興味を持たれたら是非インドネシア語科を覗いてみてください。「インドネシア語、やってみたい」「インドネシア、行ってみたい」という方ならどなたでも大歓迎です。経験豊かな講師陣がみなさんをインドネシア語の世界へと誘います。

インドネシア語はインドネシアの「国語」です。多種多様な文化、独自の言語を持つエスニックグループ間の意思疎通のツール、共通語として整備され発展してきました。文の構造もそれほど複雑ではなく比較的取り組みやすい言語です。人称、格、時制、単数複数などによる品詞の変化もありません。文字はアルファベット26文字で表記され、発音はほぼ綴りどおり。動詞の独特な形成や派生語など、複雑な部分もあり、一概に“簡単”とは言えませんが、本科ではネイティブ講師と日本人講師により、聞く、話す、読む、書く、すべてを網羅した授業を展開し、丁寧に指導していきます。文法をしっかり勉強したい、会話が上手になりたい、映画やドラマが見たい、ユニークな文化に触れてみたい、などなど、様々なニーズにお応えすべく努力しています。レベルは基礎、初級、中級、上級となっています。基礎は初めてインドネシア語を学ぶ方のためのクラスですが、長いブランクがあって忘れてしまったという方にもお勧めです。学習経験や滞在経験があり、さらにステップアップしたいという方はご自身の語学力に合わせて希望のクラスを受講できます。申し込みの際は「レベル目安」と「講座内容」をご確認ください。

* 上級レベルの方には、さらなるスキルアップのための「セミナークラス」を設定しています。

* 基礎から中級までは、成績がつきませんので(単科A)、次の学期に続けて受講をしたい人は、次に何を受講したらよいか、担当講師と学期末の授業中に相談するとよいでしょう。上級を受講した方には、講座終了後に成績が通知されるので(単科B)、今まで学んだことが身に付いたかどうか、判断の材料にしてください。

また、同じレベルにある2つの講座を同時に受講する単科セット科目を受講すると、学習効果も上がり、受講料も割引になるので、週2回受講をするお時間がある方にはお勧めです。

(単科講座を個別に複数受講しても受講料の割引はありません。)

<修了条件>

上級の2講座をすべて合格した場合、インドネシア語科講座の課程修了となり、希望者には修了証を発行します。

1学期に1講座ずつ受講をする場合は、期を空けずに連続して残りの講座を受講し、合格をすると修了となります。